

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 学芸 学部 メディア創造学科

出身高校名 光ヶ丘女子高校

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

将来映像クリエイターになりたいと考えており、その為には幅広い知識と技術を学ぶ必要があると考えました。メディア創造学科では、4つの分野の科目を組み合わせることで、多角的な学びを得ることができます。制作だけでなく社会情勢を学んだり、グループワークを通して主体性や協調性を身につけたり…。特に映像を作る側の技術と受け手の知識の両方を学べるのは、他の大学にはない魅力だと思い、志望しました。

- (2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は高校3年間、放送部として活動しており、副部長やテレビドキュメント班のチーフを務めました。毎日映像と向き合い、仲間達と試行錯誤していく中で、映像に対する可能性を感じ、もっと知識を深めたいと強く思うようになりました。AO入試はどの入試方式よりも、自分の熱意を伝えることができます。放送部3年間の中で得た経験や想いを、次の進路への架け橋にできればと思い、AO方式での受験を決めました。

- (3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

放送部の活動の中で制作したテレビドキュメント番組と、英語資格です。入試では、最後に制作した最も思い入れのある番組を軸にしてアピールしました。その際に意識していたのは、1次の書類審査と2次のプレゼンテーションの両方で、結果よりも過程を具体的に書くことです。作品を制作する中で心がけた事、何を達成することができたか、課題点などを細かく伝えるようにしました。

- (4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

書類作成は、思っているよりも多くの時間が必要になると思います。その為早め早めに準備することがおすすめです。どの書類もまずは具体的に伝えることを意識して書き、国語科の先生など何人かの先生にアドバイスをもらいながら完成させました。課題レポートは、まず参考になる資料や論文を集める所から始めました。テーマに関連する新書を読むことで、理解を深めることができると思います。

〔面接〕

面接では、プレゼンテーションに向けた対策を重点的に行いました。原稿を制作し、構成や聞きやすさを意識しながら数え切れない程練習を重ねました。この練習のおかげで自信に繋がリ、アドリブなども取り入れた自分らしいプレゼンにすることができたと思います。発表方法はパワーポイントを使うものにした。プレゼンでPCを使う場合は、知識のある先生と接続方法などを練習しておくのがおすすめです。

- (5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試は自分の想いを大学に直接伝えることができる唯一の入試です。高校3年間で取り組んだことや、見つけた将来の夢が少しでもあるのならば、怯まず是非挑戦してみてください。私は「緊張してもいいから同志社女子大学への想いを全部伝えて帰るぞ!」という気持ちで受験しました。大学でお会いできるのを楽しみにしています。